

# 北海道大学「縁」

Vol.51

こんにちは、北海道大学「縁」です！秋風が涼しく過ぎ易い日々ですね。読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋…みなさんはどのような秋を送っているでしょうか？何をやるにも良い気候だからこそ有意義な時間を過ごしたいものです。

秋の話とは変わりますが、私たちは夏休みを使って全国遠征を行っています！縁には約1000人のメンバーがいますが、4つのグループに分かれて各地に散らばりました。それぞれの場所でお祭りに参加したり、ヒッチハイクで移動したり、時には余興を披露したりしたことも！それぞれの場所でも

元の人と関わり、別のグループとは全く違う時間を過ごしました。

そしてつぼんど真ん中祭りに参加するために全員が集まった名古屋。40度を超える猛暑の中でしたが、名古屋の街を巻き込むことが出来ました！

祭りが終わった後、名古屋で1度解散し、また全員が集まって向かったのが滋賀県の長浜あざいあっぱれ祭りです。よさこいはもちろんのこと、最後の花火は音楽に合わせて打ち上げられるもので非常に感動しました。北海道大学「縁」は代替わりの時期となりますが、これからも応援のほどよろしくお願いします！



## 「ヒッチハイクの旅」レポート

みなさんはヒッチハイクをしたことがありますか？この夏、ガクナビ編集部員がYOSAKOIソーランサークル「縁」で経験した「ヒッチハイクの旅」をレポートします！！

**朝見 崇弘**  
僕たちのペアはなんと、青森県青森市から東京の浅草まで長距離を3日で移動しました！方言やその土地のことを教えて貰い、非常に楽しい時間が過ごせました。時には自分の目的地ではないにもかかわらず、僕たちの行きたい場所まで連れて行って下さったり、乗せていけないからと差し入れを下さる人がいたり人の優しさに触れることも出来ました！



**多志馬 優輝**  
ヒッチハイクの道中で乗せてくださったドライバーさんと色々な話をする内にとっても仲良くなったので広島周辺の観光スポットに案内していただきました。厳島神社や原爆ドームという広島といったところココという場所に案内してもらい、その後晩飯に地元で有名な美味しいお好み焼きをご馳走していただきました。出会ったばかりの人にここまで親切にもらい、人の温かさを感じるヒッチハイクの旅となりました。



思ったことは大体叶える事が出来る」ということです。1度目のヒッチハイクでは、乗せて頂いた方と仲良くなり物々交換をしていくという事も目標にヒッチハイクを行いました。最初は北海道大学Tシャツを渡し、ぬいぐるみ…お寺に泊めていただいた時に数珠…最後には、王様ゲーム用のトランプにまで変わることが出来ました。また、色々な方に乗せていただき様々な話を聞いて、職業への興味の幅や世界観も広がりました。また2度目にも色々な方との御縁を築き、この感謝の気持ちを返すために自分から人を笑顔にしたいと思い、富士宮市の老人ホームにアポを取り、3人で演舞をしてきました。そこにいる方々を笑顔にすることが出来て、中には涙を流して下さる方もいて、自分がしたかった事は達成されたなあと実感しまし

**堀内 美里**  
石川県の金沢市から静岡県の富士宮市まで合計4泊5日で2度ヒッチハイクをしました！北海道大学縁という名の通り、全国に御縁をつくる目的でヒッチハイクを行ったのですが、一番私を感じたのは、「やりたいと思

## 魅力学生紹介

酪農学園大学 苅澤龍一  
連絡先 090-4959-8012



初めまして苅澤龍一です。ただいま合同会社 CLUE の代表をしております。主な事業として、イベント製作です。最近ではコミュニティのあり方が増えてきたと思います。オンラインサロンだったり、SNS だったり。しかし我々はオフラインにこだわりを持っています。ネットがこれだけ普及してきて、最近外を歩いていてもみんな携帯を見ています。そんな世の中だからこそ、直接人に会って感じるものや、目を見て話すからこそ生まれるものがあると感じています。なぜ僕がこんなにも、オフラインでの出会いを大切にしようかと言うと、僕自身が、人との出会いの中でたくさんの経験が出来たからです。僕は本当に運が良く周りの人に恵まれてここまで出来ました。人との繋がりがそんなパワーを持っている僕は思います。こんなカッコつけて語っている僕ですが、最近まで自分がどうなるべきなのか、すごく悩んでいましたし、同世代の人から特に同じような相談を受けることが多いです。「自分のやりたいこととは」「自己実現とは」みんな難しく考えています。僕も同じでした。そんな僕を救ってくれたのが、やはり出会いです。すごく悩んでいた僕に、僕は至る人に連絡をして、相談をしました。



今自分がどのように生きていけばいいのか分からない。何が正解なのだろうかたくさん質問をしました。今思うとなんて訳のわからない質問なんだと思いますが、みんな優しく答えてくれました。たくさんの解をいただいた僕が感じた人生とは「あせらず急げないこと」です。人によって様々な人生です、答えなんてわかりません。この記事を読んだ人が僕と同じ悩みを持っている人がいたのならあせらずに多くの人に会ってほしいと思います。もしもしたら答えが見つかるかもしれません。そんな出会いを作っていけたらいいなと思っています。

## 2018/10/09 北大馬術部ホースショー

北大のキャンパス内にある馬場で、馬術部の大会が開催されました！障害を次々に飛び越え、そのタイムと減点数で競い合う競技を見学させて頂きました！タイムよりも、減点することなくコースを回りきれぬかどうか勝負を決めるそうです。台風の日で足場が悪いにもかかわらず、迫力満点のジャンプを見学できました！

馬術部のように動物を扱う団体は、北海道大学の数あるサークル・部活の中でも非常に珍しいでしょう。動物を相手にするため、毎朝5時に集合して餌やりやトレーニングを行ったり、馬の飼育費用を自分たちのバイト代から出すなど、決して楽な部活ではありません。でも、ペットとは違い体格も力も勝る馬と信頼関係を築く経験はここでしか得ることのできず、馬術部の最大の魅力であると言えるでしょう！馬術部主将の羽二生香成さん（北大3年 医学部保健学科）は、小学校5年生の時から馬に乗っているのだそう！今年は羽二生さんを含め三名の方が11月に開催される全国大会への切符を手に入れました。馬術部員はもちろん経験者だけではなく、漫画「銀の匙」の影響で入部した人や、一度は諦めたもののどうしても動物と接したい思いが捨てきれず、7月に入部を決めた人など、入部理由はさまざま。馬術部に興味のある方は是非一度北大キャンパスの最北端に位置する馬場へ足を運んでみてください！また、新千歳空港近郊にあるノーザンホースパークでは月一回馬術大会が開催されています！！



馬術部ホームページ <http://kitauma.wixsite.com/hokudaibazyutubu>

